

令和6年度 全国私学教育研究集会大分大会 実施報告



一般財団法人日本私学教育研究所（以下、当研究所）が主催する全国私学教育研究集会大分大会は、令和6年10月31日（木）～11月1日（金）の2日間、大分県大分市のiichiko 総合文化センター iichiko グランシアタ・ホテル日航大分オアシスタワー・ソレイユを会場に「新しい時代の創造に向けた私学の挑戦～多様性と包括性の実現に向けて～」を研究目標に掲げて開催しました。全国私学教育研究集会は私学教育に係る諸問題の研究と今後の私学教育の発展をめざして、全国の私立中学校・高等学校・中等教育学校の教職員を参加対象とし、各地区の持ち回り制で毎年度開催しており、今年度は九州地区が開催地区となりました。当研究所との連携の下、九州地区私立中学高等学校協議会及び大分県私立中学高等学校協会が周到な準備とその加盟校から多大なるご協力を頂いて実施し、全国の私立中学校・高等学校・中等教育学校から492名の参加者を得て、盛会裡に終了することができました。関係各位に心より御礼申し上げます。

初日は全体集会（開会式・全体会）を行い、開会式では大分県副知事の尾野賢治様と大分市副市長の清水久子様に臨席頂き、大分県知事の佐藤樹一郎様、大分市長の足立信也様に代わり祝辞を賜りました。全体会では大分県私立学校活動紹介として大分高等学校書道部の生徒が書道パフォーマンスを、日本文理大学附属高等学校チアリーディング部の生徒がチアリーディングを披露し、日本私立中学高等学校連合会の吉田晋会長及び当研究所の平方邦行所長による「教育政策と私学情勢について」をテーマとした報告を行いました。続いて、三和酒類株式会社取締役会長の下田雅彦氏による記念講演「麦焼酎いっこの挑戦と宝言葉」を行いました。全体集会終了後の教育懇談会では大分県知事の佐藤樹一郎様に臨席頂き、祝辞を賜りました。

2日目は私学経営、教育課程、法人管理事務運営、生徒指導、進路指導の5部会に分かれ、それぞれの部会研究目標の下で、講演、ワークショップ、パネル・ディスカッション、実践発表等を行いました。初日、2日目とも参加者からは今後の参考となる内容であり、自校に持ち帰り、実践したい等の評価を頂きました。

第1日「全体集会」

◆開会式

開会式は、小幡克己・大会運営総括委員長の開会のことばで始まり、吉田晋・当研究所理事長、小山康直・実行委員長の挨拶の後、来賓の尾野賢治・大分県副知事、清水久子・大分副市長からのご祝辞を賜りました。

続いて、登壇者の紹介が行われた後、次年度大会開催地区の関東地区を代表して、工藤誠一・次期大会実行委員長より令和7年度全国私学教育研究集会神奈川大会の案内も兼ねて挨拶が行われ、井上倫明・副運営総括委員長の閉会のことばで開会式を終了しました。



小幡克己氏

吉田晋氏

小山康直氏



尾野賢治・大分県副知事

清水久子・大分副市長

工藤誠一氏

◆全体会

◇大分県私立学校活動紹介／報告／記念講演



大分高等学校書道部



日本文理大学附属高等学校チアリーディング部



吉田晋氏

平方邦行氏

下田雅彦氏

開会式後の全体会では、まず、大分県私立学校活動紹介として、大分高等学校書道部の生徒による「書道パフォーマンス」、日本文理大学附属高等学校チアリーディング部の生徒による「チアリーディング」を披露しました。続いて、「教育政策と私学情勢について」をテーマに吉田晋・中高連会長と平方邦行・当研究所所長が報告、大分県を代表する酒類メーカー三和酒類株式会社取締役会長の下田雅彦氏による、「麦焼酎いーちこの挑戦と宝言葉」と題した記念講演を行いました。

第2日「部会」

◆私学経営部会

「新しい時代の創造に向けて～子供たちの様々な個性や能力を大きく伸ばすために～」を研究目標として実施し、132名が参加しました。同部会では、①有限会社糶屋本店代表取締役の浅利妙峰氏による講演「『温故知新』糶は日本の宝～糶料理で健体康心～」、②麗澤大学工学部情報システム工学専攻専攻長・教授／EdTech 研究センターセンター長／株式会社 HYPER CUBE 取締役 CTO の小塩篤史氏による講演「創造性2050 AI と共生する時代の創造性教育」、③（大分県）学校法人大分高等学校理事長の小山康直氏、（大分県）日本文理大学副学長・工学部教授の吉村充功氏、（鳥取県）学校法人鶏鳴学園青翔開智中学高等学校理事長の横井司朗氏の3名のパネリストと姫路女学院中学高等学校理事長・校長の摺河祐彦氏をコーディネーターとしたパネル・ディスカッション「新しい時代の創造に向けて～子供たちの様々な個性や能力を大きく伸ばすために～」の3つのプログラムを行いました。



左上から浅利妙峰氏、小塩篤史氏、小山康直氏、
左下から吉村充功氏、横井司朗氏、摺河祐彦氏

◆教育課程部会

「新しい社会を生き抜く若者の育成～課題への挑戦を実現する開かれた私学教育～」を研究目標として実施し、100名が参加しました。同部会では、①東京電機大学副学長の広石英記氏による講演・ワークショップ「課題への挑戦を促す教育デザイナー-社会参画を通じたコンピテンシーの育成」、②大分大学教育マネジメント機構



広石英記氏



竹中真希子氏



花野勝幸氏



遠藤一祐氏

STEAM 教育推進センター教授の竹中真希子氏による講演・ワークショップ「創造性を育む教育的アプローチ～分野を超えて学びを紡ぐ力～」、③(兵庫県)甲南中学高等学校教諭の花野勝幸氏による実践発表「『個別最適な学び』と『協同的な学び』から育む『主体的・対話的で深い学び』を実現するキャリア教育授業デザイン」、④(大分県)大分東明高等学校教諭の遠藤一祐氏による実践発表「授業改善のための本校教務の取り組み～30年間継続してきた授業公開・提案授業制度～」の4つのプログラムを行いました。

◆法人管理事務運営部会

「これからの私学教育を支える校務運営を考える」を研究目標として実施し、102名が参加しました。同部会では、①大分大学教育学部教授の長谷川祐介氏による講演「働き方改革の推進と教育活動の充実の両立は可能か?」、②本郷さくら総合法律事務所代表弁護士/兵庫教育大学大学院教授の神内聡氏



長谷川祐介氏



神内聡氏



武藤孝宏氏

による講演「私立学校教員にとって望ましいワークルールと労務管理とは何か」、③(東京都)香蘭女学校中等科・高等科事務長の武藤孝宏氏による実践発表「本校が取組む、事業計画達成のための校務運営改革」、④研究協議(全体会)「これからの私学教育を支える校務運営を考える」の4つのプログラムを行いました。研究協議ではテーマに沿って、6名程度のグループに分かれ、参加者同士意見交換を行いました。

◆生徒指導部会

「学校コミュニティの協力体制を構築して『自己解決力』を支援する生徒指導」を研究目標として実施し、70名が参加しました。同部会では、①別府大学文学部人間関係学科元教授の小野貴美子氏による講演「生徒の自己



小野貴美子氏



伊藤正喜氏



渡辺律子氏



有廣美優氏

決定を支える環境づくり」、②伊藤小池法律事務所代表弁護士の伊藤正喜聡氏による講演「学校コミュニティの協力体制を構築しての学校トラブルへの対応について」、③公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所副所長の渡辺律子氏及び同研究所主任研究員有廣美優氏による講演・ワークショップ「未来のネット社会を豊かに生きていく子どもたちのために」の3つのプログラムを行いました。

◆進路指導部会

「生徒の多様性に対応した進路指導のあり方」を研究目標として実施し、64名が参加しました。同部会では、①株式会社玉の湯代表取締役社長の



桑野和泉氏



岩切知美氏



末次亮太氏



都甲真利恵氏



井上綾乃氏

桑野和泉氏による講演「由布院100年のまちづくり～持続可能な地域づくり・人づくり～」、②株式会社成美代表取締役社長の岩切知美氏による講演「これからの地域を意識した生徒のキャリア意識の育成」、③(大分県)福德学院高等学校教諭の末次亮太氏及び同校非常勤講師兼進路指導員の都甲真利恵氏による実践発表「21世紀を生き抜くための進路指導～生徒の個性を引き出して～」、④(大分県)稲葉学園高等学校教諭の井上綾乃氏による実践発表「地域の活性化を通じた生徒のキャリア意識の育成」の4つのプログラムを行いました。

アンケートより

全体集会（私立学校活動紹介・報告・記念講演）についてのご意見ご感想

【私立学校活動紹介】

- 書道パフォーマンス、チアリーディングの「静」と「動」の表現で大会に華を添えるものですばらしかった。
- 大分県の高校2校のパフォーマンスはとてもよかった。元気・勇気・笑顔をもらえました。
- 高校生の素晴らしいパフォーマンスを見せていただき、創造性の中に何事も挑戦するすばらしさを感じた。

【報告（吉田晋会長）】

- 現在の私学の情勢やこれからの情勢を知り、危機感を感じる場所もあった。しかし、吉田先生が熱く語られる中に、これからの可能性も強く感じ気持ちが引き締まった。
- 少子高齢化、IT化、DX化、改めて数字とともに理解が深まった。また、教員の処遇改善について、公立・私立踏まえながら実状を知れて良かった。
- 大学、文科省との我々の知らない接点と今後の入試の方向性など、問題とされているところも見え、とてもありがたかった。

【報告（平方邦行所長）】

- 22世紀に向けてどういう教育をすべきか、教育の方向性を学ぶことができた。
- もっと先を見据えた教育現場、教育者の話と捉えると、とても考えさせられた。聞いたことのない話をたくさん拝聴できた。
- 短い時間の中でとても内容の濃いものだった。

【記念講演】

- ①「和の経営」と「ことば資源」②会社の「チャレンジの歴史」③最大の弱みの克服 等々。理系の発想による企業変革の取組は興味が大いに湧く内容であった。
- 強みと弱みにおけるブランド戦略の考え方など私学経営のヒントにつながるワードが多かった。
- 常にチャレンジされている姿勢や、トップとしての振る舞い等、大変勉強になった。
- 今後の教育現場における取り組みの大きなヒントになった。

各部会の内容等についてのご意見ご感想

【私学経営部会】

〈講演Ⅰ〉

- 健康のみならず、心の持ちようについて大変前向きに、また、元気をいただいた。
- 浅利先生の人間教育は私学人である我々としても参考になる話ばかりだった。
- 開拓者精神、商業人婦人の気持ちが伝わった。大変面白く学校経営のヒントを得た。

〈講演Ⅱ〉

- AIと共生する時代にどのように創造性を育てるか、というこれからの教育に必須な教育者の考え方を教えていただいた。
- ”スローラーニング”の発想がとても興味深いものだった。待つことを大切にしたいと改めて思った。
- 探究・AI・創造性について、最近考えることが多かったのも、大変参考になった。

〈パネル・ディスカッション〉

- 3校の取り組みに関して、大変興味深く拝聴させていただいた。
- 各学校さんの取り組みで大枠から細部まで参考となることをたくさんいただいた。
- 今後の展開に解は見当たらないが、生徒減が現実のものとなり、各校との戦いにどうのぞんでいくか改めて考えさせられた。

【教育課程部会】

〈講演・ワークショップⅠ〉

- 非常に理解できると同時に、今後、本校が取り組むべき課題が明確になった。
- 大変勉強になった。管理職、経営者にもぜひ聞いていただきたい内容であった。
- 私学が最も大切にしなければならない「建学の精神」とそこからのスクールポリシー、スクールルーブリックの大切さを実感できた。

〈講演・ワークショップⅡ〉

- どうしてよいかわからない生徒の気持ちを実体験できたシーンがあり、よい経験だった。
- 周囲の先生方と顔を見合わせて話ができるような場面があり、有意義だった。
- STEAM 教育についてさらに詳しく調べたいと思った。

〈実践発表Ⅰ〉

- 探究学習における企業との連携はダイナミックで、生き生きした生徒の様子が見て取れた。本物に触れる経験の重要性を感じた。
- 本校でも実践したい事例・方法であった。

〈実践発表Ⅱ〉

- 本校にも公開授業はあるものの、形骸化している部分もあり、早速改善の検討をしたいと思った。
- 地道な授業公開が、教員間の風通しを良くし、目指す教育目標やポリシーの理解につながると感じた。

【法人管理事務運営部会】

〈講演Ⅰ〉

- 働き方改革を進める中で一番悩みが多い部分として、非常にタイムリーな情報であったと感じた。とても参考になった。
- 働き方改革の難しさを改めて痛感するとともに、ひとつひとつ粘り強く取り組んでいく必要性を感じた。
- 校務運営改革に向けて、多くのヒントを得ることができた。

〈講演Ⅱ〉

- スクールロイヤーとしての学校現場に踏み込まれた実践例は参考になった（保護者対応、イジメ、虐待、学校事故、部活動と労働問題、等々）私学のワークルールの基本事項の押さえ、ルールの構築の難しさの要因、実例は参考になる。
- 法律家で教員という視点で教員のワークルール作成の難しさがよくわかった。

〈実践発表〉

- 留学、数々の転機で自己錬磨に努められた講師の問題、課題意識の高さは素晴らしく、改革の発想が柔軟で多面的である。改革の原点は〈独自性〉、〈先進性〉、〈継続性〉にあることを強調された。
- 約 2 年間で、多くの改革を進められており、とても興味を持った。IT リテラシーが進んでいる中、もっと効率化を図ることができると思えば是非参考にさせて頂きたい。
- 改革の方法として大変ためになった。

〈研究協議〉

- 各校の部活動に係る時間管理の話を中心に協議した。
- 他の参加者と交流でき、とても充実した時間となった。

【生徒指導部会】

- 悩みをかかえた生徒や、学校現場におけるトラブルへの対応について、具体的な対応の方法が聞けて、大変参考になった。
- 専門分野の講演や、各校の様子を聞けたり悩みを共有できたりしてとても有意義だった。
- もっと勉強しなければ、生徒も学校も救えないと危機感を感じた。常に進化する社会に対応できる教員になりたい。
- 人の話を聞くことの大切さの再認識ができた。様々な先生方の生の声が聞け、貴重な時間となった。
- 生徒たちが現代社会に生きていく上で、必要な思考、行動規範をどう育成していくことが大切か、ということが多く学べて大変参考になった。

【進路指導部会】

〈講演Ⅰ〉

- 玉の湯の成長というより由布院という町作りは印象的でした。百年の計に見える先人（ドイツ）の教えと力強いコンセプトに魅力を感じ、起業家の方の考え方はとてもためになった。
- 未来を見据え、地域とともに歩むことの重要性を学び、今後の学校のあり方のヒントが多かった。
- 地域のためを思った取り組みが良く、観光客が多くなることは大切だと思うが、地元の人々のことも考えられていることは素晴らしいと感じた。

〈講演Ⅱ〉

- 岩切氏の経営理念には学校運営というより生徒に向き合う姿勢や心意気として大切なことを学べた。
- 苦難の成功体験は、社会を知らない生徒達にはとても刺激になると感じた。
- とても魅力ある話し方で、社長のパワフルな姿勢にたくさんの学びがあった。
- 思うように上手くいかない世の中でも、自分の意思を貫いて大会に参加し、受賞されたことに尊敬した。

〈実践発表Ⅰ〉

- 入学時からある種の職業観を持っている生徒を業界人として通用する手前まで育てるというプロセスに、キャリア教育のブラッシュアップに役立つヒントが多くあり、参考になった。
- プレゼンの学習に自校でも力を入れていきたいと思った。
- 総合の時間の活用や社会に出た後を見据えた指導が参考になった。

〈実践発表Ⅱ〉

- 総合実習を行っているとき、多くの生徒達が笑顔であったことが印象的だった。
- 総合実習のように、実践的に学べる学び方は、準備を含めてとても大変だと思うが、素晴らしい取り組みだと感じた。

参加者数（部会別・都道府県別）

◆部会別参加者数

No.	部会名	参加者数
1	私学経営	132
2	教育課程	100
3	法人管理事務運営	102
4	生徒指導部会	70
5	進路指導部会	64
6	全体集会のみ参加	24
計		492

◆教育懇談会参加者数 295名

◆都道府県別参加者数

No.	都道府県	参加者数	No.	都道府県	参加者数	No.	都道府県	参加者数
1	北海道	9	17	石川	1	33	岡山	4
2	青森	3	18	福井	0	34	広島	18
3	岩手	3	19	山梨	1	35	山口	0
4	宮城	0	20	長野	1	36	徳島	0
5	秋田	5	21	岐阜	3	37	香川	1
6	山形	1	22	静岡	5	38	愛媛	9
7	福島	1	23	愛知	9	39	高知	0
8	新潟	2	24	三重	2	40	福岡	57
9	茨城	2	25	滋賀	1	41	佐賀	21
10	栃木	1	26	京都	8	42	長崎	23
11	群馬	1	27	大阪	26	43	熊本	28
12	埼玉	1	28	兵庫	9	44	大分	97
13	千葉	4	29	奈良	5	45	宮崎	26
14	神奈川	22	30	和歌山	2	46	鹿児島	29
15	東京	23	31	鳥取	17	47	沖縄	3
16	富山	0	32	島根	8			
九州地区参加者数							284	
参加者数 計							492	

☆詳細な報告は、年度末までに作成の「全国私学教育研究集会大分大会研究集録」に記載致します。